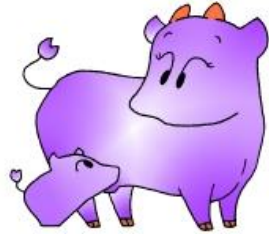


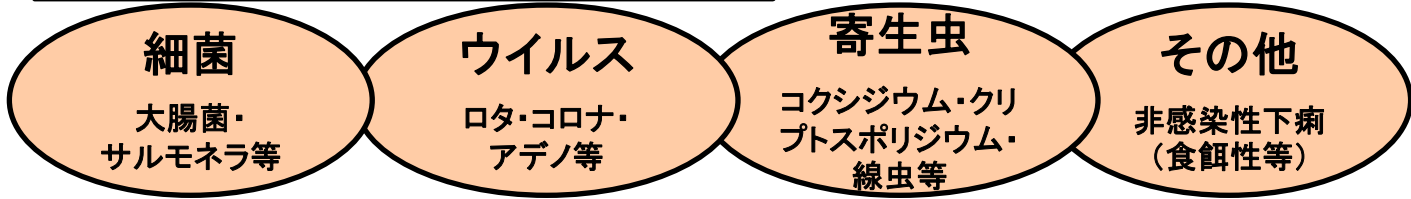
子牛の下痢症対策について

子牛の下痢症対策をしましょう！

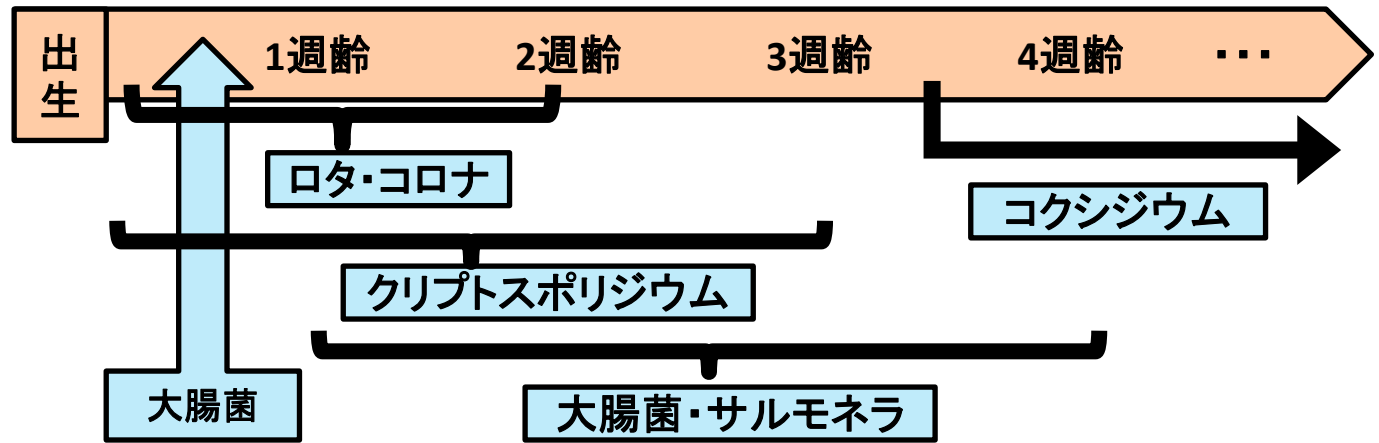
春、管内で子牛の感染性下痢が複数例発生しました。子牛の下痢は、良好な成長を妨げ、重篤な場合は死亡することもあります。また、体力損耗・免疫力低下を起こすことで、肺炎など他の疾病にもかかりやすくなります。改めて子牛の飼養衛生管理を確認し、適切な対策で下痢を予防しましょう。



主な原因は？



発生しやすい時期は？

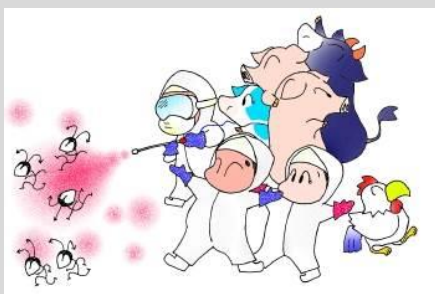


主な特徴は？

病名	ロタ	コロナ	アデノ	大腸菌	サルモネラ	コクシジウム	食餌性
原因	ウイルス			細菌		原虫	哺乳・給餌の不適
便の形	水様	水様	水様	水様	水様	水様～軟便	軟便
便の色	乳黄色	乳白色～黄色	灰白色	灰白色～黄色	黄灰白色	茶褐色	原因による
血便	×	×	○	○	○	○	×
その他		呼吸器症状伴うことあり	悪臭 呼吸器症状伴うことあり	悪臭	悪臭・発熱	低病原性は血便×	発熱なし

子牛を下痢から守るために、対策を行いましょ。

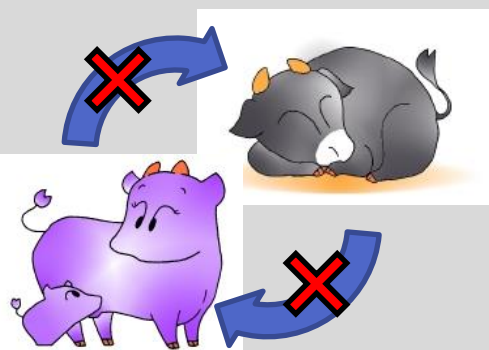
◆農場への侵入を防止しましょ



農場内へ下痢の原因となる病原体を持ち込まないよう対策しましょ。

- ・農場に出入りする人と車両の消毒を行う。
- ・長靴の交換や防護服を着用する。
- ・踏み込み消毒槽を設置する。

◆農場内での感染を防止しましょ



農場内で下痢が発生した場合、他の子牛へ広がらないように対策しましょ。

- ・道具や人についた病原体を広げないため、洗浄・消毒、使い分けや作業順序の変更を行う。
- ・下痢子牛が、健康子牛と触れ合わないようにする。
- ・重症化、感染拡大する前に発見し、適切な治療を受けましょ。

◆健康な子牛を育てましょ



病気にかかりにくい、健康な子牛を育てましょ。

- ・母牛へのワクチン接種、分娩前後の適切な管理を行う。
- ・初乳を給与する。
- ・暑さ寒さ、換気不足などのストレスを減らす。

下痢のときには、脱水に注意しましょ！

下痢の時には、体からたくさんの水分が失われ、脱水状態となり、腎臓に負担がかかります。脱水をしているときに、腎臓に負担をかける薬(コクシジウム治療に使うサルファ剤など)を使用すると、腎臓の機能が悪くなり、死亡する事例もあります。ひどい脱水の場合は、補液などによる脱水改善もあわせて行うことが必要です。獣医師にご相談ください。

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111 FAX:0577-32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

